

## 6. 地域活性化に向けた取組

### 【未利用地域資源の存在と活用にあたっての課題】

「地域では、まだ利用されていない資源が眠っていると考えられそれらを利用した高付加価値の商品・サービスの開発が可能である。一方で、商品の開発だけでなく売り込み（販路開拓）までが課題である。」

地域には、いまだに利用されていない資源が眠っていると考えられている地域も多い。しかし、その利用にあたっては地域資源の特性上その地域の住民や事業者が地域資源の価値に気付いていない、もしくは、地域資源そのものの存在に気付いていない場合がある。これらの解決策として本白書では、より市場に近いデザイナーやプロデューサーなど外部の人材との連携をあげている。

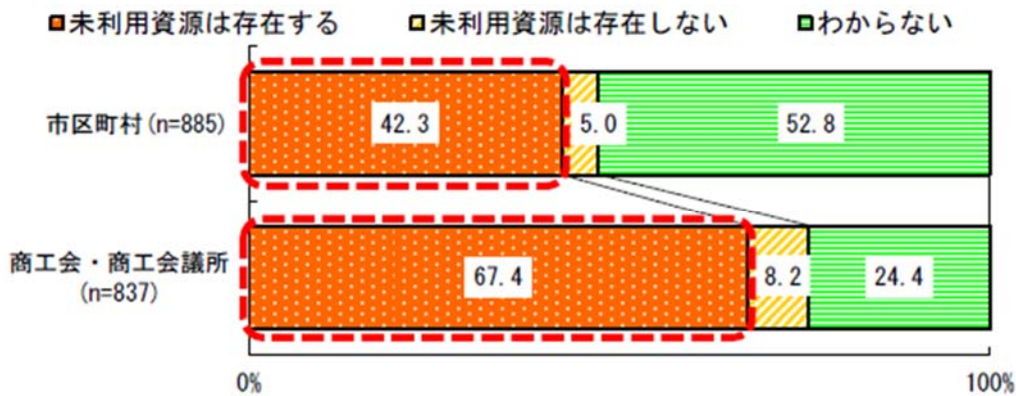


図 23 地域における未利用資源の存在（2015年版中小企業白書概要 P20 より）

また、地域資源の発掘や活用した商品の開発と合わせて重要な課題が地域資源の売り込み（販路開拓）であるとも指摘している。商品・サービスの開発が成功しても、他地域も地域資源開発の注力している中で、それらの商品・サービスとの競争に埋もれないためにもブランド化やマーケティング、販路開拓に取り組む必要がある。これらを一事業者が取り組むことは、困難であるため本白書では「地域商社（地域に密着し地域資源を売り込み、発信していく機能を持つ団体）」の重要性をあげ商工会等の各団体に対する期待値の高さに触れている。

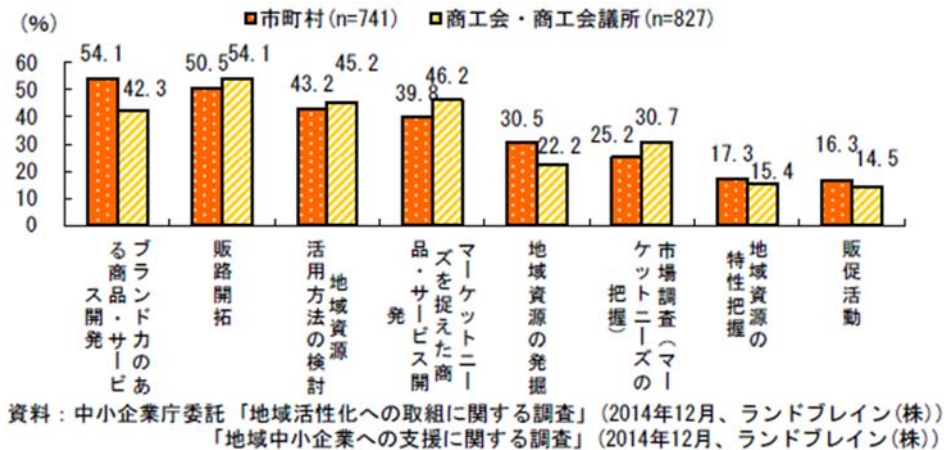


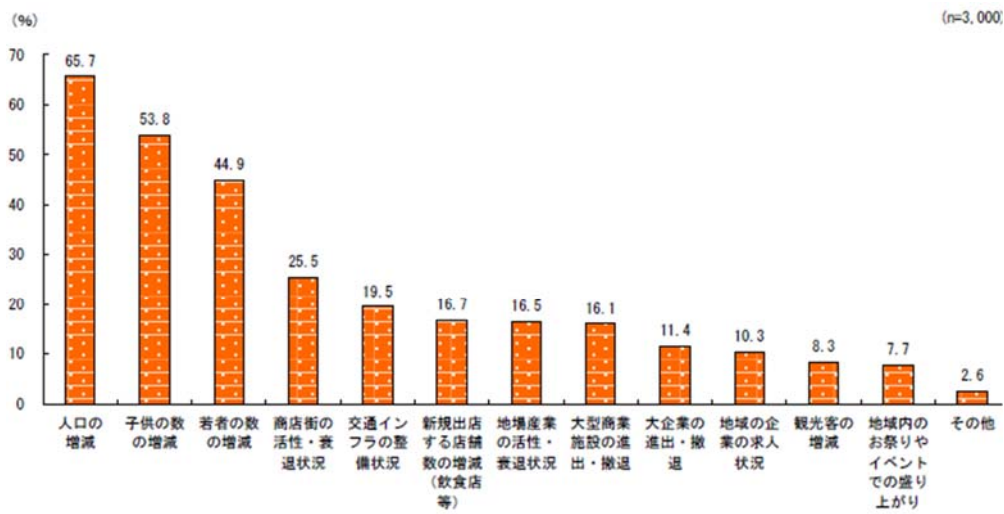
図 24 地域資源を活用する際の課題（2015年版中小企業白書 P288 より）

【中小企業・小規模事業者が与える地域への影響】

「地域では、それぞれ人口減少・少子高齢化といった課題が多様化し複雑化している。中小企業・小規模事業者の事業による地域課題の解決は、雇用創出や人材育成など地域の活性化に幅広く好影響を与えることが期待できる。」

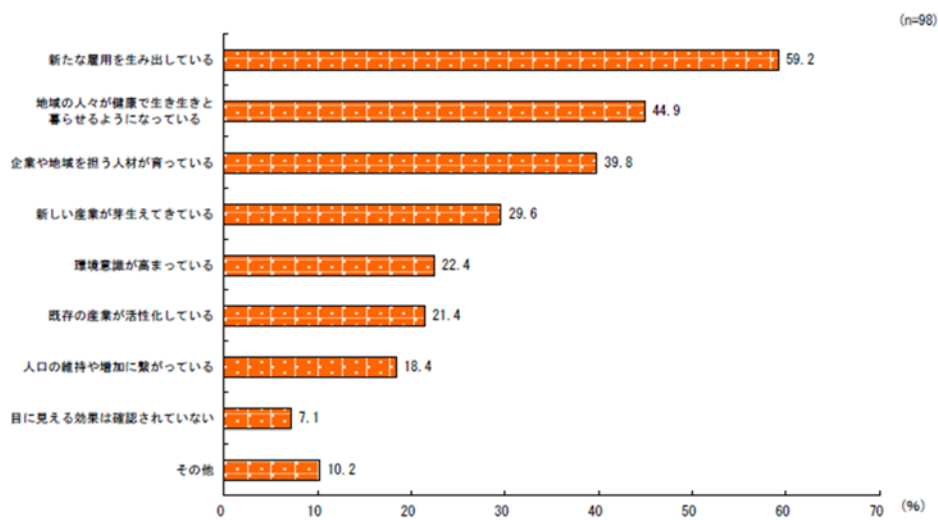
地域は人口減少、若者の減少、高齢化、商店街の衰退など各地域によって抱える課題が異なり、さらには深刻化している。これらの地域課題を解決するには、その地域の課題に直面し、それを深く理解している地域の事業者による解決が有効であると考えられる。

地域の中小企業・小規模事業者の住民のニーズをくみ取り事業活動により地域課題を解決し、地域住民の生活環境の改善・向上に寄与し共に発展していくことが期待されている。



資料：中小企業庁委託「あなたと地域の関わりに関する調査」(2015年1月、ランドブレイン(株))  
 (注)地域の発展・衰退を判断する要素について、最大3つまで回答を求めた。

図 25 地域の発展・衰退を判断する要素 (2015年版中小企業白書 P401 より)



資料：中小企業庁委託「GRSVへの先進的取組に関するアンケート調査」(2014年7月、みずほ情報総研(株))  
 (注)複数回答のため、合計は100%を超えている。

図 26 事業による地域課題の解決が地域に与える影響 (2015年版中小企業白書 P331 より)